

木造荼吉尼天騎狐像

木造荼吉尼天騎狐像

もくぞうだきにてんきこぞう

分野／部門

有形民俗文化財

所有者

宗教法人 四天王寺(してんのうじ)

所在地

大阪市天王寺区四天王寺 1-11-18

紹介



木造荼吉尼天騎狐像

大阪市域は水とゆかりが深い土地柄であり、水神である蛇と関連する女神の、弁才天への根強い信仰がみられる。また、弁才天とも習合しながら、稲荷神としてまつられる女神の荼吉尼天への信仰も随所にのこっている。これらの信仰を体現する神体には、文化財調査が及ばない場合も 多いが、近年の調査で、神体としてまつられていたとみられる彫像が、いくつか確認されている。 本像もそのような一例であり、像高39.7センチメートル、境内の稲荷社の神体であった可能性が考えられる。制作年代は、16 世紀末から 17 世紀初めとみられ、市域の信仰を考えるうえで貴重な文化財である。